

令和2年度

省エネルギー投資促進に向けた支援補助金  
(エネルギー使用合理化等事業者支援事業)

Ⅱ.設備単位

設備別 省エネルギー量計算の手引き  
【指定計算（産業用モータ）】

2020年5月 1.0版

## はじめに

本手引きは、「産業用モータ」の省エネルギー量計算のうち、指定計算の詳細について説明したものです。「産業用モータ」以外の設備については、「設備別 省エネルギー量計算の手引き」のうち、該当する設備の手引きをご覧ください。

独自計算については、「省エネルギー量計算の手引き【独自計算（全設備区分共通）】」をご覧ください。

本手引きをご覧いただく前に、「**交付申請の手引き**」の「**第1章 1-4 省エネルギー量計算について**」及び「**第5章 5-4 設備情報の登録～省エネルギー量計算の実施**」で、本事業における省エネルギー量計算の考え方や流れ、注意事項等をご確認ください。

# <参考> 補助対象設備区分と設備区分毎に定める基準表

以下の基準値を満たす設備が補助対象です。「その他の注意事項」も含め補助対象設備であるか、事前にご確認ください。

## 産業用モータ

### ▶ 対象範囲

種別	対象範囲
9-1. 産業用モータ (産業用モータ単体・ポンプ・ 圧縮機・送風機)	産業用モータ単体・ポンプ・圧縮機・送風機本体、高調波対策盤、インバータ制御盤

### ▶ 対象設備の基準値

種別	性能区分	基準値			
		2極	4極	6極	
9-1. 産業用モータ (産業用モータ単体・ポンプ・ 圧縮機・送風機)	60Hz	0.75kW	77.0%	85.5%	82.5%
		1.1kW	84.0%	86.5%	87.5%
		1.5kW	85.5%	86.5%	88.5%
		2.2kW	86.5%	89.5%	89.5%
		3.7kW	88.5%	89.5%	89.5%
		5.5kW	89.5%	91.7%	91.0%
		7.5kW	90.2%	91.7%	91.0%
		11kW	91.0%	92.4%	91.7%
		15kW	91.0%	93.0%	91.7%
		18.5kW	91.7%	93.6%	93.0%
		22kW	91.7%	93.6%	93.0%
		30kW	92.4%	94.1%	94.1%
		37kW	93.0%	94.5%	94.1%
		45kW	93.6%	95.0%	94.5%
		55kW	93.6%	95.4%	94.5%
		75kW	94.1%	95.4%	95.0%
		90kW	95.0%	95.4%	95.0%
	110kW	95.0%	95.8%	95.8%	
	150kW	95.4%	96.2%	95.8%	
	185~375kW	95.8%	96.2%	95.8%	
	50Hz	0.75kW	80.7%	82.5%	78.9%
		1.1kW	82.7%	84.1%	81.0%
		1.5kW	84.2%	85.3%	82.5%
		2.2kW	85.9%	86.7%	84.3%
		3kW	87.1%	87.7%	85.6%
		3.7kW	87.8%	88.4%	86.5%
		4kW	88.1%	88.6%	86.8%
		5.5kW	89.2%	89.6%	88.0%
		7.5kW	90.1%	90.4%	89.1%
		11kW	91.2%	91.4%	90.3%
		15kW	91.9%	92.1%	91.2%
		18.5kW	92.4%	92.6%	91.7%
		22kW	92.7%	93.0%	92.2%
30kW		93.3%	93.6%	92.9%	
37kW		93.7%	93.9%	93.3%	
45kW		94.0%	94.2%	93.7%	
55kW	94.3%	94.6%	94.1%		
75kW	94.7%	95.0%	94.6%		
90kW	95.0%	95.2%	94.9%		
110kW	95.2%	95.4%	95.1%		
132kW	95.4%	95.6%	95.4%		
160kW	95.6%	95.8%	95.6%		
200~375kW	95.8%	96.0%	95.8%		

### <備考>

1. 基準値は、JIS C 4034-2-1に規定する方法により測定した数値を用い、出力(入力ー全損失)を入力(W)で除した数値(%)とする。
2. IECが定めたIE4(スーパープレミアム効率グレード)相当のモータは、基準を満たしている場合は対象とする。
3. 3定格(6定格)を含む場合の200V/60Hz(400V/60Hz)については、トップランナー基準を満たしていれば、IE3相当とみなし、補助対象とする。

その他、詳細はトップランナー制度「産業用モータ 目標年度が2015年度以降の各年度のもの」に準ずる。

## <参考> 補助対象設備区分と設備区分毎に定める基準表

### ■その他の注意事項

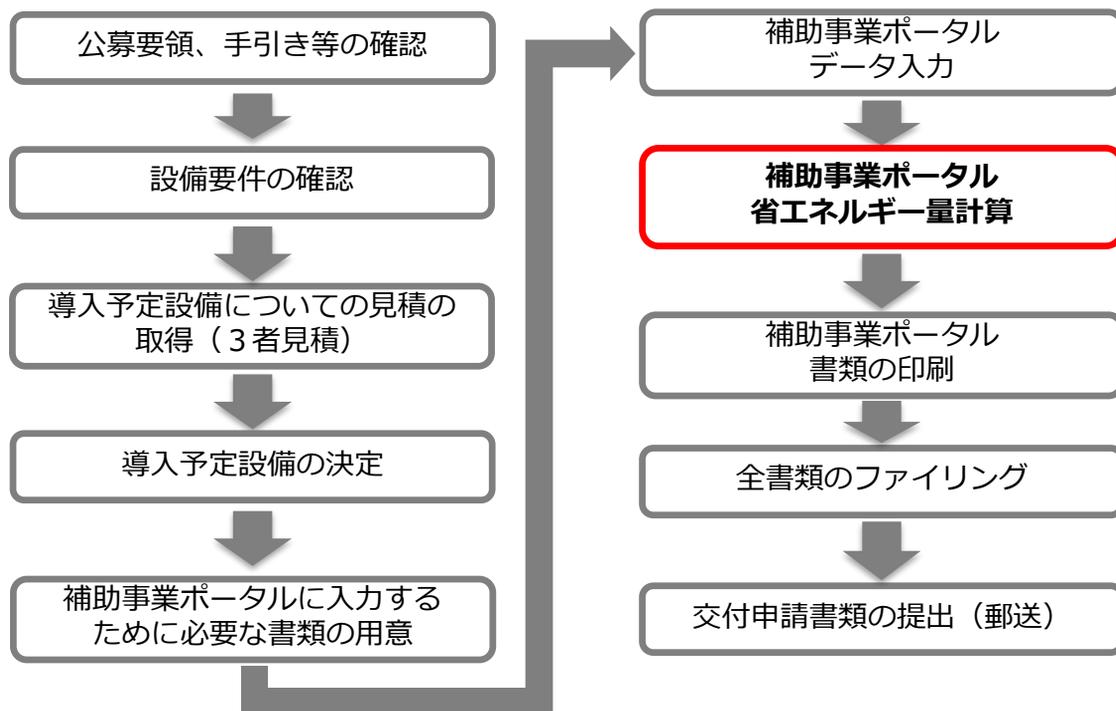
- 生産製造設備（工作機械）等に組み込まれている産業用モータ単体・ポンプ・圧縮機・送風機のみを更新する場合も対象とする。ただし、生産製造設備（工作機械）単体は対象外とする。なお、産業用モータ（産業用モータ単体・ポンプ・圧縮機・送風機）が既に組み込まれている生産製造設備全体の更新で、産業用モータ部分だけを補助対象として申請することはできない。
- トップランナーで除外規定となっている機種についても、モータ効率レベルがIE3以上であれば補助対象とするが、常用・連続使用しないもの（消火用ポンプ、据え付けしない可動式の設備等）、は対象外とする。
- コンプレッサーやブロワは圧縮機、ファンや集塵機は送風機に該当する。ただし、集塵機は掃除機のような小型のものは対象外とする。
- 前頁「対象範囲」に記載されている設備以外の設備（付帯設備等）は対象外とする。  
（一体不可分として出荷される場合は除く。）

# <参考> 交付申請全体の流れと、本手引きの位置づけ

本補助金への交付申請にあたっては、以下に示す各手順を追って交付申請書を作成し、提出する必要がありますが、本手引きは、以下の手順のうち「補助事業ポータル 省エネルギー量計算」について、詳細を説明したものです。それ以外の手順については、別途公開の「交付申請の手引き」を参照してください。

## ■ 交付申請全体の流れと、本手引きの位置づけ

### <交付申請の流れ>



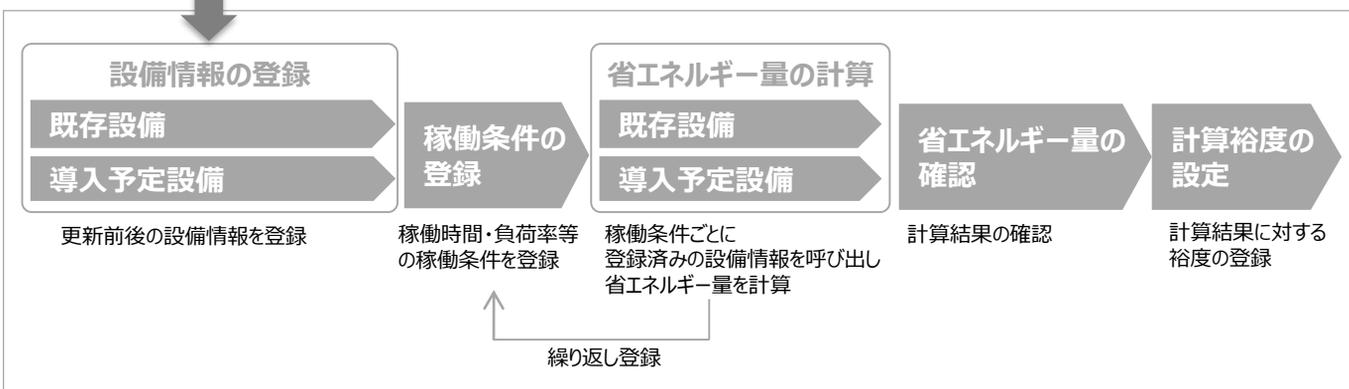
## ■ 本手引きで説明する作業の手順

「補助事業ポータル 省エネルギー量計算」として説明している実際の作業手順は、以下の通りです。この図は、後述の各説明ページにも掲載され、作業進捗がわかるよう、説明している段階の作業名が赤字になっています。参考にしてください。

### <省エネルギー量計算の流れ>

← 更新前後の設備情報と計算条件の登録 → 省エネルギー量計算の実施 →

#### 計算方法の概要



# 目次

<b>はじめに</b>	.....	<b>P. 1</b>
<参考> 補助対象設備区分と設備区分毎に定める基準表	.....	P. 2
<参考> 交付申請全体の流れと、本手引きの位置づけ	.....	P. 4
目次	.....	P. 5
<b>計算方法の概要</b>	.....	<b>P. 6</b>
産業用モータの指定計算に関する基本的な考え方について	.....	P. 6
計算方法（指定計算／独自計算）の選び方	.....	P. 6
指定計算を選択できない条件	.....	P. 6
計算時の注意事項	.....	P. 7
<b>既存設備の登録</b>	.....	<b>P. 8</b>
既存設備情報の登録	.....	P. 8
<b>導入予定設備の登録</b>	.....	<b>P.10</b>
型番マスタを使用する場合	.....	P.10
型番マスタに登録がない、又は使用しない場合	.....	P.13
<参考> 導入設備登録 画面	.....	P.15
<b>稼働条件の登録</b>	.....	<b>P.16</b>
稼働条件の登録	.....	P.16
<b>省エネルギー量の計算</b>	.....	<b>P.18</b>
既存設備のエネルギー使用量の計算	.....	P.18
導入予定設備のエネルギー使用量の計算	.....	P.20
<参考> 登録情報を更新した場合の再計算方法	.....	P.22
<b>省エネルギー量の確認</b>	.....	<b>P.23</b>
登録情報の確認	.....	P.23
事業全体での省エネルギー量の確認	.....	P.23
<b>計算裕度の設定</b>	.....	<b>P.24</b>
計算裕度の設定	.....	P.24
<b>必要添付書類</b>	.....	<b>P.25</b>
必要添付書類	.....	P.25
<b>参考</b>	.....	<b>P.26</b>
<参考> 産業用モータ用計算式	.....	P.26
<参考> 既存設備のモータ効率参考値	.....	P.27
<参考> 導入予定設備のモータ効率参考値	.....	P.29

# 計算方法の概要

## ■ 産業用モータの指定計算に関する基本的な考え方について ※計算式はP.26を参照してください。

- **既存設備のエネルギー使用量**  
既存設備の定格出力(W)とモータ効率(%）、運転負荷率(%）、稼働時間(h)を用いて推計します。
- **導入予定設備のエネルギー使用量**  
導入予定設備の定格出力(W)とモータ効率(%）、運転負荷率(%）、稼働時間(h)を用いて推計します。

## ■ 計算方法（指定計算／独自計算）の選び方

下表を参考に、計算方法を確認してください。なお、本手引きでは赤枠部分に関する詳細を説明しています。

計算方法	選択基準	計算に関わるポータル入力項目	
指定計算	<b>補助事業ポータル内の自動計算機能を利用して省エネルギー量を計算する方法</b> ・ SIIが設定する計算式を使用 ・ 稼働時間は、平均的な「1日あたりの運転時間」「1ヶ月あたりの運転日数」から、通年で同一とみなして算出 ・ 負荷率は、平均的な値を通年で同一とみなして使用 ・ カタログ・仕様書の性能値を使用してエネルギー使用量を算出	既存設備	・ 定格出力 ・ モータ効率
		導入予定設備	・ 定格出力 ・ モータ効率
独自計算	<b>計算式や使用する数値を独自に設定してエネルギー使用量を計算する方法</b> ・ 計算手順および用いた値の根拠を示す証憑の提出が必要 ・ 独自計算の詳細は、別冊「省エネルギー量計算の手引き【独自計算（全設備区分共通）】」を参照	既存設備	・ 月別エネルギー消費量
		導入予定設備	

※ 既存設備と導入予定設備で、異なる計算方法を用いることはできません。

## ■ 指定計算を選択できない条件

以下に該当する場合、指定計算を選択することはできません。必ず独自計算を選択してください。

- 導入前後で定格出力に変動がある場合。
- 定格出力、モータ効率、運転負荷率、稼働時間を用いて算出する方法以外の方法で計算する場合。
- そのほか独自の計算方法を使用する場合。

## 計算方法の概要

### ■ 計算時の注意事項

- 指定計算では稼働時間と運転負荷率は、「設備の更新前後で同じ」という前提で計算しています。
- 既存設備のモータ効率が不明な場合、巻末に記載の「<参考> 既存設備のモータ効率参考値」を用いて省エネルギー量計算を行うことも可能です。
- 導入予定設備のモータ組み込み製品（ポンプ、圧縮機、送風機）のモータ効率が不明な場合、巻末に記載の「<参考> 導入予定設備のモータ効率参考値」を用いて省エネルギー量計算を行うことも可能です。（IE3以上のモータである事が確認できる場合に限る。）
- 指定計算ではモータ更新以外による省エネルギー効果（**制御効果等**）は含んでいません。
- 指定計算を使用して計算した既存設備、及び導入予定設備それぞれの計算結果が適切な値であることを必ず確認してください。特に、既存設備の計算結果については、事業所全体のエネルギー使用量を示す検針票・請求書等の実績値と比較し、事業所全体に対する割合が適切か確認してください。
- 設備の計測が行える場合は、対象機器の負荷率曲線を適用し、計測値から負荷率を求めてください。計測できない場合は、販売会社・メーカーに確認してください。

# 既存設備の登録



## ■ 既存設備情報の登録

「既存設備登録 画面」の項目を示します。  
カタログ・仕様書・銘板等を確認し誤りがないように入力してください。

### <申請書詳細 画面>

補助事業申請書詳細

編集 事業者登録 導入予定設備登録 **既存設備登録** 見積・発注情報登

「既存設備登録」をクリック  
※設備を追加する場合は、保存後再度クリック

### <既存設備登録 画面>

既存設備登録 画面

戻る 保存

\*は入力必須項目です。

画面情報

画面名 既存設備登録 画面

区分・分類

区分・分類

1 設備区分\* 産業用モータ

2 種別\* ポンプ **確定**

設備情報

3 メーカー 〇〇ポンプ株式会社

4 製品名\* △△ポンプONK

5 型番 OLD-323MK

6 台数\* 10 台

7 設置年\* 1995年

その他仕様

8 モータ効率\* 93.0 %

9 定格出力\* 55.00 kW

戻る **保存**

1と2の入力後「確定」をクリック  
→ 既存設備情報を入力する画面を表示

入力後「保存」をクリック

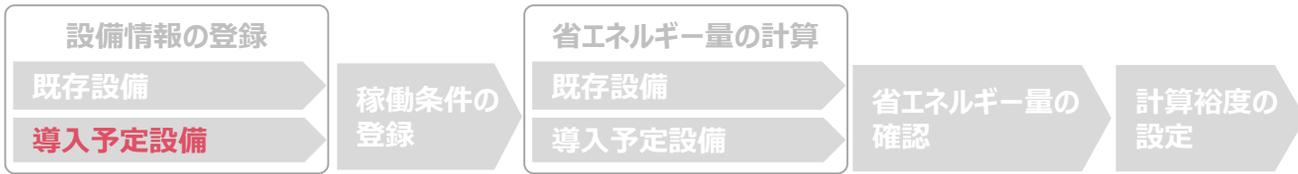
# 既存設備の登録

下表の説明を参考に、既存設備情報を入力します。

※ 英数字は半角で入力すること

No.	項目名	入力方法	説明	備考
1	設備区分	プルダウン	「産業用モータ」を選択する。	
2	種別	プルダウン	既存設備の種別を選択する。	
3	メーカー	手入力	既存設備のモータ本体のメーカー名を入力する。	製品カタログ、仕様書、既存設備の銘板等を参照。
4	製品名	手入力	既存設備のモータ本体の製品名を入力する。	製品カタログ、仕様書、既存設備の銘板等を参照。
5	型番	手入力	既存設備のモータ本体の製品型番を入力する。	製品カタログ、仕様書、既存設備の銘板等を参照。
6	台数	手入力	当該設備の既存設備の台数を入力する。	
7	設置年	プルダウン	固定資産台帳に記載されている、既存設備の設置年（取得年）を選択する。	不明な場合は、設備を設置した建物が登記された年（不動産登記簿【権利部（甲区）】に記載）を記載する。
8	モータ効率	手入力	製品カタログ、仕様書を見ながら、既存設備のモータ効率を転記する。	製品カタログ、仕様書、既存設備の銘板等を参照。 ※ 不明な場合、巻末の「既存設備のモータ効率参考値」を参照し、モータ効率の値を転記することも可能。
9	定格出力	手入力	製品カタログ、仕様書を見ながら、既存設備の定格出力を転記する。	製品カタログ、仕様書、既存設備の銘板等を参照。

# 導入予定設備の登録



## ■ 型番マスタを使用する場合（使用しない場合はP.13へ）

「導入予定設備登録 画面」とその入力項目を示します。入手した見積、及び当該設備のカタログ・仕様書を確認し、型番や台数等に誤りがないように入力してください。

### <補助事業申請書詳細 画面>



### <導入予定設備登録 画面>



#### 1 設備区分

「産業用モータ」を選択する。

#### 2 種別

「公募要領 別表1」を参考に、導入予定設備の種別を選択する。

※ コンプレッサーやブロウは「圧縮機」を、ファンや集塵機は「送風機」を選択すること。

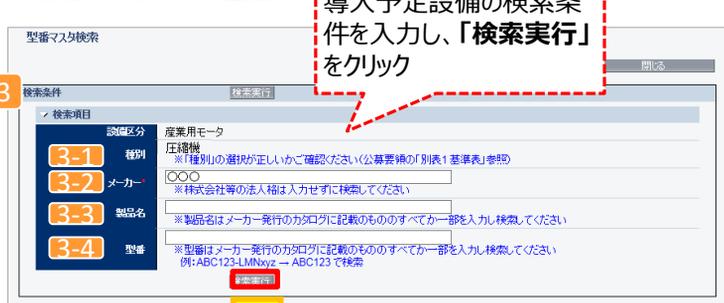
※ 不明な場合は製造メーカー等に確認し、正しい種別を選択すること。

### <型番マスタの利用について>

導入予定設備の登録は、まず「型番マスタ」を検索し、該当の設備があった場合はそこから選択する方法で行ってください。検索結果に導入したい設備が表示されない場合は、以下の各項目を参考にしてください。

1. 公募要領 P.55 以降「別表1 補助対象設備区分と設備区分毎に定める基準表」を確認し、当該設備が本事業の申請基準を満たしているか確認してください。
2. 基準を満たしている場合は、型番の枝番部分を削除する等、検索条件を変更して、再度検索してください。  
[例] カタログ表記の型番が「ABC1000-005」の場合、型番の一部分（「ABC1000」、「ABC」等）で検索する等（検索結果の型番内“■”は、性能値や能力値に影響のない枝番等に該当する任意の文字として扱われます。）
3. 検索結果に導入予定設備の型番が複数表示された場合は、製品名や型番の ( ) 内に表記された諸条件を確認し、導入予定設備の仕様と一致している設備を選択してください。

### <型番マスタ検索 画面>



#### 3-1 種別（必須）

・公募要領の「別表1 基準表」を参照し正しく選択しているか確認してください。

#### 3-2 メーカー（必須）

・法人格は入力せずに検索してください。

#### 3-3 製品名（任意）

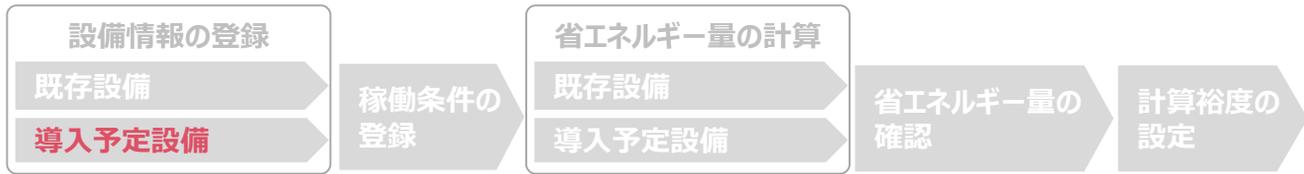
・メーカー発行のカタログに記載された製品名のすべて又は一部を入力して検索してください。

#### 3-4 型番（任意）

・メーカー発行のカタログに記載された型番のすべて又は一部を入力して検索してください。

[例] ABC123-LMNxyz → ABC123 で検索

# 導入予定設備の登録



前ページより



## <型番マスタ検索 画面>

型番マスタ検索

検索条件

検索項目

設備区分: 産業用モータ  
 種別: 圧縮機  
 メーカー: ○○○  
 製品名: スクリュコンプレッサ  
 型番: ○○11VD(50Hz)

表示された検索結果から、導入予定設備を探し、「選択」をクリック

No.	選択	設備区分	種別	メーカー	製品名	型番
1	<input checked="" type="checkbox"/>	産業用モータ	圧縮機	○○○	スクリュコンプレッサ	○○11VD(50Hz)
2	<input type="checkbox"/>	産業用モータ	圧縮機	○○○	スクリュコンプレッサ	○○11VD-C(60Hz)
3	<input type="checkbox"/>	産業用モータ	圧縮機	○○○	スクリュコンプレッサ	○○15RD(50Hz)

## <導入予定設備詳細 画面>

設備情報

型番マスタ利用  有り  無し

型番マスタ

4 設備情報

4-1 メーカー ○○○

4-2 製品名 スクリュコンプレッサ

4-3 型番 ○○11VD(50Hz)

4-4 台数\* 1 台

5 基準条件

5-1 性能区分 50Hz / 4種

5-2 基準値 効率レベル IE3以上

5-3 性能値 効率レベルIE3

5-4 備考 インバータ機

6 その他仕様

6-1 モータ効率 91.4 %

6-2 定格出力 11.00 kW

入力後「保存」をクリック

検索結果で「選択」した製品情報が自動入力されていることを確認  
 ※ 型番マスタに登録されている設備情報が自動反映されますので、入力は不要です (4-4 台数は、必ず入力してください)

## 導入予定設備の登録

下表の説明を参考に、導入予定設備情報を入力します（**型番マスタを使用する場合**）。

※ 英数字は半角で入力すること

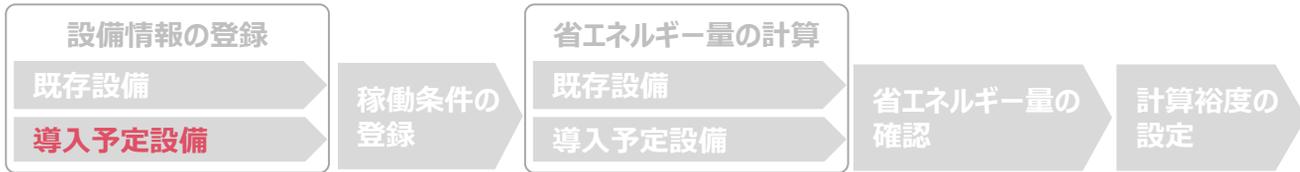
項目	No.	項目名	入力方法	説明
4 設備情報	4-1	メーカー	自動表示	「型番マスタ検索」による選択結果に応じて、表示される。
	4-2	製品名	自動表示	
	4-3	型番	自動表示	
	4-4	台数	手入力	当該設備の導入予定台数を入力する。 ※誤入力がないように「見積書」と台数の一致を確認すること。
5 基準要件	5-1	性能区分	自動表示	「型番マスタ検索」による選択結果に応じて、表示される。
	5-2	基準値	自動表示	
	5-3	性能値	自動表示	
	5-4	備考	自動表示	
6 その他仕様	6-1	モータ効率	自動表示	「型番マスタ検索」による選択結果に応じて、表示される。
	6-2	定格出力	自動表示	



検索結果に導入予定設備が表示されない、又は検索結果がない旨のメッセージが表示された場合は、以下の各項目を確認のうえ、再検索をお試しください。

- ・「種別」の選択が正しいか、確認してください（公募要領 P.55以降の「別表1」参照）。
- ・「型番」の入力誤りがないか、確認してください。  
(文字数の多い型番の場合は、全型番を入力しなくても検索は可能です 例：ABC123-LMNxyz → ABC123 で検索する等)

# 導入予定設備の登録



## ■ 型番マスタに登録がない、又は使用しない場合

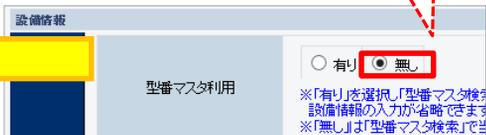
検索条件を変更しても検索結果に導入予定設備が表示されない、又は検索結果がない旨のメッセージが表示された場合は、画面右上の「閉じる」をクリックして「導入予定設備登録 画面」に戻り、手入力で設備情報を登録してください。

### <型番マスタ検索 画面>



「導入予定設備登録 画面」の「型番マスタ利用」を「無し」に変更

### <導入予定設備登録 画面>



### <導入予定設備登録 画面>



導入予定設備のカタログ・仕様書等を見ながら、設備情報を登録

入力後「保存」をクリック

型番・仕様等を手入力した場合は、カタログ・仕様書等を必ず申請書書類に添付してください

### <「保存」クリック時に下のメッセージが表示された場合>

**注意**  
型番マスタに存在しているデータです。型番マスタ利用有りを選択してください。

「保存」をクリック時に、上記メッセージが表示された場合は、画面上部の「型番マスタ利用」を「無し」から「有り」へ変更し、型番マスタ検索にて設備を再登録してください。

※ 「型番マスタ利用」を変更すると、手入力していたデータは消去されます。型番の文字列をコピーしてから「有り」をクリックすることをお勧めします。

## 導入予定設備の登録

下表の説明を参考に、導入予定設備情報を入力します（型番マスタに登録がない、又は使用しない場合）。

入力した導入予定設備の情報は、証憑書類（カタログ・仕様書等）の該当する箇所に蛍光マーカー等で印をつけ、転記した箇所がわかるようにしてください。

※ 英数字は半角で入力すること

項目	No.	項目名	入力方法	説明
4 設備情報	4-1	メーカー	手入力	導入予定設備のメーカー名を入力する。
	4-2	製品名	手入力	導入予定設備の製品名を入力する。
	4-3	型番	手入力	導入予定設備の型番を入力する。
	4-4	台数	手入力	当該設備の導入予定台数を入力する。
5 基準要件	5-1	性能区分	プルダウン	製品カタログ・仕様書を見ながら、対象設備の基準値を参考に、導入予定設備の周波数と極数を選択する。 ※適切な選択肢が表示されない場合は、次ページを参照すること。
	5-2	基準値	自動表示	上記「性能区分」の選択結果に応じて、基準値が表示される。
	5-3	性能値	プルダウン	製品カタログ・仕様書を見ながら、「IE3」、「IE4」、「IE5」から選択する。
	5-4	備考	手入力	必要に応じて入力する。（原則、入力不要）
6 その他仕様	6-1	モータ効率	手入力	製品カタログ・仕様書を見ながら、導入予定設備のモータ効率を転記する。 ※モータ組み込み製品（ポンプ、圧縮機、送風機）のモータ効率が不明な場合は、巻末の「導入予定設備のモータ効率参考値」を参照し、モータ効率の値を転記することも可能。
	6-2	定格出力	手入力	製品カタログ・仕様書を見ながら、導入予定設備の定格出力を転記する。

## <参考> 導入設備登録 画面

### <性能区分に適切な選択肢がない場合>

性能区分に該当する極数がない場合（2極・4極・6極以外）、設備情報は以下のように登録して下さい。

例：「60Hz / 8極」の設備情報を登録する場合

基準要件	5-1	性能区分*	60Hz / その他 ▼
		基準値	効率レベル IE3以上
		性能値*	効率レベル IE4 ▼
	5-4	備考	8極

5-1 性能区分：「60Hz / その他」を選択する。

5-4 備考：適切な極数を手入力する。

### <1台の設備に2台以上のモータが搭載されている場合>

モータの運転方式により、登録内容が異なります。以下を確認の上、適切に設備情報を登録して下さい。

例：15kWのモータが2台搭載されている設備の情報を登録する場合

#### ① 単独交互運転方式（モータを交互に常時1台運転する方式）の場合

その他仕様	5-4	備考	単独交互運転 15kW x 2台
	6-1	モータ効率*	91.0 %
	6-2	定格出力*	15.00 kW

5-4 備考：「**単独**交互運転 15kW x 2台」と入力する。

6-1 モータ効率：該当モータのモータ効率を入力する。モータ効率が不明な場、公称効率（※）を入力してもよい。

6-2 定格出力：**1台分**の定格出力を入力する。

#### ② 並列交互運転方式（複数のモータを交互に先発運転、また同時運転もする方式）の場合

その他仕様	5-4	備考	並列交互運転 15kW x 2台
	6-1	モータ効率*	91.0 %
	6-2	定格出力*	30.00 kW

5-4 備考：「**並列**交互運転 15kW x 2台」と入力する。

6-1 モータ効率：該当モータのモータ効率を入力する。モータ効率が不明な場合、公称効率（※）を入力してもよい。ただし、公称効率は「2台分の定格出力の合計値」から転記するのではなく、**1台分の定格出力**から転記すること。

6-2 定格出力：**2台分の定格出力の合計値**を入力する。

#### ※ 注意事項

- 搭載されている全てのモータが同一性能である場合のみ、登録が可能です。
- 公称効率は、巻末の「導入予定設備のモータ効率参考値」を参照してください。
- 設備の稼働時間は、モータ毎ではなく該当設備の運転時間を登録する必要があります。詳細はP.16を参照してください。

# 稼働条件の登録



## ■ 稼働条件の登録

省エネルギー量計算に使用する稼働条件を登録します。  
産業用モータの稼働条件は「稼働時間」と「負荷率」です。

### <申請書詳細 画面>

「申請書詳細 画面」を下部までスクロールし、「省エネルギー効果計算（総括）」から、計算を行う設備区分の「詳細」をクリック

No.	詳細	設備区分	事業実施前 原油換算使用量	事業実施後 原油換算使用量	省エネルギー量 (原油換算)	裕度	計画省エネルギー量 (原油換算)	
							合計	削減率
1	<a href="#">[詳細]</a> 産業用モータ		㎏	㎏	㎏		㎏	%
事業全体の合計			㎏	㎏	㎏	-	0.000㎏	%

### <稼働条件詳細 画面>

「稼働条件登録」をクリック

### <稼働条件登録 画面>

「稼働条件追加」をクリックすると入力欄が表示されます

「削除選択」にチェックを入れて保存すると、対象の稼働条件が削除されます

入力後「保存」をクリック

1 既存エネルギー使用量は使用実態を把握した上で、実態に基づき登録しているか\* (はい)

2 計算方法 指定計算

No.	削除選択	稼働条件名*	計算方法	種別*	運転負荷率*	1日あたりの運転時間*	1ヶ月あたりの運転日数*
1	<input type="checkbox"/>	8時間20日エリア	指定計算	ポンプ	67.0 %	8.00 h	20 日

## 稼働条件の登録

下表の説明を参考に、計算時に使用する稼働条件を登録します。

No.	項目名	入力方法	説明	備考
1	エネルギー使用実績	プルダウン	エネルギー使用量が既存設備の使用実態に基づいているか確認し、「はい」を選択してください。	既存設備のエネルギー使用量は、事業所全体のエネルギー使用量を示す検針票や請求書等の実績値と比較し、事業所全体に対する割合が適切であるか確認してください。
2	計算方法	プルダウン	「指定計算」を選択する。	
3	稼働条件名	手入力	稼働条件ごとに識別用の名称を設定する。 ※ フロアや部屋の違いに関わらず、稼働条件が同じであれば、同じ「稼働条件」で登録して下さい。  例) 8時間稼働エリア 等	
4	種別	プルダウン	登録する稼働条件の種別を選択する。	
5	運転負荷率	手入力	運転負荷率を入力する。 ※ 設備の計測が行える場合は、対象機器の負荷率曲線を適用し、計測値から負荷率を求めてください。計測できない場合は、販売会社・メーカーに相談してください。	運転負荷率の算出根拠を必ず添付すること。
6	1日あたりの運転時間	手入力	1日あたりの運転時間 (h) を入力する。 ※ 単位は、小数点2桁で入力可。 ※ 2台以上のモータを搭載する設備を導入する場合、稼働時間はモータ毎ではなく該当設備の稼働時間を入力すること。	入力例) 7時間15分：7.25 7時間30分：7.50 7時間45分：7.75
7	1ヶ月あたりの運転日数	手入力	1ヶ月あたりの運転日数を入力する。	

# 省エネルギー量の計算（既存設備）



## ■ 既存設備のエネルギー使用量の計算

あらかじめ登録した既存設備の情報をもとに、エネルギー使用量を計算します。

### <稼働条件詳細 画面>

No.	稼働条件名	計算方法	要計算	省エネ計算			種別	運転負荷率	1日あたりの運転時間	1ヶ月あたりの運転日数	年間運転時間
				省エネ計算	導入予定条件	既存					
1	8時間20日エリア	指定計算		0	0	0	ポンプ	67.0%	8.00 h	20 日	1,920.00 h

### <省エネ計算一覧 画面>

### <既存設備 省エネ計算登録 画面>

画面情報  
画面名 既存設備 省エネ計算登録 画面

種別・計算方法

既存/導入予定	既存/導入予定	既存
稼働条件	稼働条件	8時間20日エリア
種別・計算方法	1 種別*	ポンプ
	計算方法	指定計算

設備情報

メーカー	ポンプ株式会社
2 製品名/型番*	△△ポンプONK / OLD-323MK
3 台数*	10 / 10 台

エネルギー使用量

4 原油換算量計算	→必要熱量と全エネルギー使用量を自動計算	195.64
全エネルギー使用量 (原油換算) 合計		

戻る 保存

## 省エネルギー量の計算（既存設備）

下表の説明を参考に、既存設備の計算に必要な項目を入力し、エネルギー使用量を計算します。

No.	項目名	入力方法	説明	備考
1	種別	プルダウン	既存設備の種別を選択する。	
2	製品名/型番	プルダウン	事前に登録した既存設備の「製品名/型番」から該当する型番を選択する。	
3	台数	手入力	2 で選択した「製品名/型番」の台数を入力する。	
4	原油換算量 計算	自動表示	「原油換算量計算」をクリックして全エネルギー使用量を自動計算する。	台数までの項目を入力してから自動計算させること。

# 省エネルギー量の計算（導入予定設備）



## ■ 導入予定設備のエネルギー使用量の計算

あらかじめ登録した導入予定設備の情報をもとに、エネルギー使用量を計算します。

### <稼働条件詳細 画面>

画面情報  
画面名 稼働条件詳細 画面

設備区分 高性能ボイラ

No.	稼働条件名	計算方法	要計算	省エネ計算				年間負荷率	1日あたりの運転時間	1ヶ月あたりの運転日数	年間運転時間	必要熱量		
				省エネ計算	導入予定件数	既存件数	省エネ率 (原油換算)					導入予定	既存	
1	8時間20日エリア	指定計算	<input checked="" type="checkbox"/>	0	0	0	0	0	95.0%	8.00 h	20日	1,920.00 h	MJ	MJ

「一覧」をクリック

### <省エネ計算一覧 画面>

省エネ計算一覧

省エネ計算登録(導入予定) 省エネ計算登録(既存) 計算

稼働条件詳細画面へ

画面情報  
画面名 省エネ計算一覧 画面

「省エネ計算登録（導入予定）」をクリック

### <導入予定設備 省エネ計算登録 画面>

画面情報  
画面名 導入予定設備 省エネ計算編集 画面

申請書情報

種別・計算方法

既存/導入予定	既存/導入予定	導入予定
稼働条件	稼働条件	8時間20日エリア
種別・計算方法	1 種別*	ポンプ
	計算方法	指定計算

設備情報

メーカー	エコポンプ株式会社
2 製品名/型番*	〇〇ポンプNINK / NEW-323NINK
3 台数*	

エネルギー使用量

4 原油換算登録計算

「原油換算量計算」をクリック  
→全エネルギー使用量を自動計算

入力後「保存」をクリック

全エネルギー使用量 (原油換算) 合計 191.547

戻る 保存

## 省エネルギー量の計算（導入予定設備）

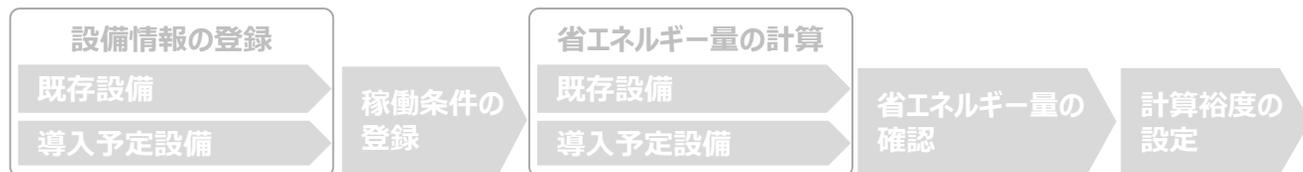
下表の説明を参考に、導入予定設備の計算に必要な情報を入力し、エネルギー使用量を計算します。

No.	項目名	入力方法	説明	備考
1	種別	プルダウン	導入予定設備の種別を選択する。	
2	製品名/型番	プルダウン	事前に登録した導入予定設備の「製品名/型番」から該当する型番を選択する。	
3	台数	手入力	2 で選択した「製品名/型番」の、導入予定設備の台数を入力する。	
4	原油換算量計算	自動表示	「原油換算量計算」をクリックして全エネルギー使用量を自動計算する。	台数までの項目を入力してから自動計算させること。

## <参考> 登録情報を更新した場合の再計算方法

補助事業ポータルでは、以下の順番で情報の登録を進めていきます。「設備情報」「稼働条件」の情報に基づき、「既存設備」と「導入予定設備」のエネルギー使用量が自動で計算されます。万が一、省エネルギー量計算後に、計算結果に影響のある情報を更新した場合は、再計算を行う必要があります。

※ 情報の登録を行う際は、製品カタログや仕様書等を準備のうえ、入力間違いがないよう注意してください。



省エネルギー量計算後に、計算結果に影響のある情報を更新した場合は再計算を行ってください。

※ 再計算を行わなかった場合は、エラーが表示され、申請書の入力完了ができません。

### ■ 再計算手順

#### 手順1. <稼働条件詳細 画面>

※ 下記画面は、電気式パッケージエアコンの例です。

画面情報  
画面名 稼働条件詳細 画面

稼働条件

「要計算」の欄に「○」が表示されている場合は、再計算が必要のため、「一覧」をクリック

No.	稼働条件名	計算方法	要計算		省エネ計算		省エネルギー量 (原油換算)	種別 (導入予定/既存) (用途)	運転パターン (冷暖房)	建物用途	1日あたりの 運転時間	1ヶ月あたりの 運転日数
			要計算	省エネ計算	導入 予定 件数	既存 件数						
1	8時間20日エリア (EHP)	指定計算	○	〔二〕	1	2	▲1.415 kJ	電気式パッケージエアコン・ガスヒートポンプエアコン	冷暖併用	店舗	8.00 h	20 日

#### 手順2. <省エネ計算一覧 画面>

省エネ計算一覧

画面情報  
画面名 省エネ計算一覧 画面

「要計算」の欄に「○」が表示されている場合は、「計算」ボタンをクリック

No.	種別	設備名	台数	エネルギー使用量 (原油換算)						計
				電気	ガス	油	熱	その他		
1	○ 導入予定	電気式パッケージエアコン	1	0.816 kJ	0.000 kJ	0.000 kJ	0.000 kJ	0.000 kJ	0.000 kJ	0.816 kJ
2	○ 既存	ガスヒートポンプエアコン	5	0.236 kJ	0.000 kJ	0.000 kJ	0.000 kJ	0.000 kJ	0.000 kJ	0.236 kJ

#### 手順3. <省エネ計算一覧 画面>

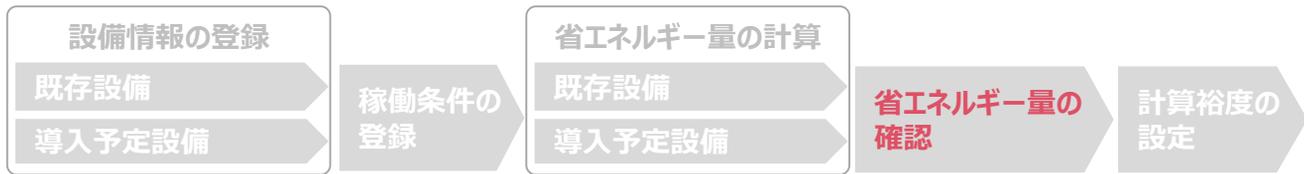
省エネ計算一覧

画面情報  
画面名 省エネ計算一覧 画面

「○」が消えていることを確認できれば再計算完了

No.	種別	設備名	台数	エネルギー使用量 (原油換算)						計
				電気	ガス	油	熱	その他		
1	導入予定	電気式パッケージエアコン	1	0.498 kJ	0.000 kJ	0.000 kJ	0.000 kJ	0.000 kJ	0.000 kJ	0.498 kJ
2	既存	ガスヒートポンプエアコン	5	0.668 kJ	10.279 kJ	0.000 kJ	0.000 kJ	0.000 kJ	0.000 kJ	10.947 kJ

# 省エネルギー量の確認



## 登録情報の確認

「申請書詳細 画面」の「既存設備一覧」「導入設備一覧」で、既存設備・導入予定設備の登録漏れが無いかを確認してください。

### <申請書詳細 画面>

※下記画面は、電気式パッケージエアコンの例です。

導入予定設備一覧									
No.	詳細	設備区分	種類	メーカー	製品名	型番	台数	型番マスタ利用	
1	[詳細]	高効率空調	電気式/パッケージエアコン	導入：高効率空調メーカー001	導入：電気式/パッケージエアコン001	HA-NEW-EHP-001	1	<input checked="" type="checkbox"/>	

既存設備一覧									
No.	詳細	設備区分	種類	メーカー	製品名	型番	台数	型番マスタ利用	
1	[詳細]	高効率空調	ガスヒートポンプエアコン	es株式会社	エコエアコン	OLD224TMAK	1	<input type="checkbox"/>	

型番マスタを利用して登録した場合には、「型番マスタ利用」にチェックが入ります

## 事業全体での省エネルギー量の確認

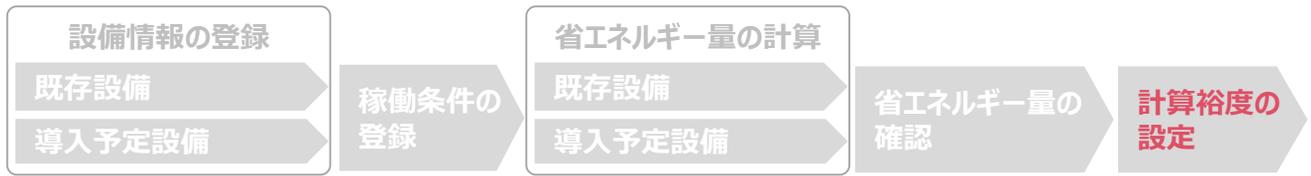
計算された省エネルギー量の算出結果が表示されます。申請する補助事業の省エネルギー量を必ず確認してください。

### <申請書詳細 画面> - <省エネルギー量計算(総括)>

省エネルギー効果計算 (総括)									
No.	詳細	設備区分	事業実施前 原油換算使用量	事業実施後 原油換算使用量	省エネルギー量 (原油換算)	裕度	計画省エネルギー量 (原油換算)		
							合計	削減率	
1	[詳細]	高効率空調	5.010kd	1.810kd	3.200kd	10%	2.880kd	57.4%	
2	[詳細]	産業ヒートポンプ	kd	kd	kd	0%	kd	%	
3	[詳細]	業務用給湯器	kd	kd	kd	0%	kd	%	
4	[詳細]	高性能ボイラ	289.272kd	250.476kd	38.796kd	0%	38.796kd	13.4%	
5	[詳細]	高効率コージェネレーション	kd	kd	kd	0%	kd	%	
6	[詳細]	低炭素工業炉	kd	kd	kd	0%	kd	%	
7	[詳細]	変圧器	3.829kd	2.459kd	1.370kd	0%	1.370kd	35.7%	
8	[詳細]	冷凍冷蔵設備	2.357kd	0.365kd	1.992kd	0%	1.992kd	84.5%	
9	[詳細]	産業用モータ	195.648kd	191.544kd	4.104kd	0%	4.104kd	2.0%	
事業全体の合計			496.116kd	446.654kd	49.462kd	-	49.142kd	9.9%	

裕度が加味された合計値が表示される

# 計算裕度の設定



## ■ 計算裕度の設定

設備区分ごとの計算裕度を登録します。

### <申請書詳細 画面>



### ■ 申請書詳細

- 1 「計算裕度登録」をクリックし、「計算裕度登録 画面」を表示

### <計算裕度登録 画面>



### ■ 裕度選択

- 2 裕度（プルダウン）  
設備区分ごとに0～20%の裕度を選択

※「裕度」欄には標準値として10%が入力されています。裕度の考え方については交付申請の手引きP.15を参照してください。

### ■ 裕度登録

- 3 保存  
内容を確認し、問題がなければ「保存」をクリック

登録が完了すると、「申請書詳細 画面」に戻ります。

「省エネルギー量計算(総括)」の「計画省エネルギー量(原油換算)」欄に、裕度が加味された省エネルギー量が表示されます。**裕度が加味された省エネルギー量の値を必ずご確認ください。**

これで、すべての必要情報の登録、及び省エネルギー量計算は完了です。**続けて次ページの<必要添付書類>を確認してください。**

# 必要添付書類

## ■ 必要添付書類

省エネルギー量計算の過程及び結果の証憑書類として、計算方法に応じて下表に示す証憑書類を提出してください。

No.	計算方法		提出が必要となる証憑書類	交付申請書類 (交付申請の手引きP. 23～25参照)
	指定	独自		
1	○	○	<b>既存設備の仕様（モータ効率、定格出力等）の根拠書類</b> ※1、※2 例) 既存設備の製品カタログ 必要な能力値等を示せる資料（仕様書等）	【添付11】 設備の製品カタログ/設備の仕様書
2	○	○	<b>導入予定設備の仕様（モータ効率レベル、周波数、極数、定格出力、定格消費電力、モータ効率）の根拠書類</b> ※1、※2、※3 ・ 型番マスタを使用して設備を登録した場合は、添付不要です。 ・ 型番マスタを使用せずに設備を手入力した場合は、添付が必要です。 (型番マスタ使用の有無は、「申請書詳細 画面」の「導入予定設備一覧」で確認すること。P.23参照。) 例) 導入予定設備の製品カタログ 必要な能力値等を示せる資料（仕様書等）	
3	○		<b>既存設備の平均負荷率、実稼働時間の根拠</b> 例) 運転日報等、設備の平均負荷率や稼働時間が記載された資料	【添付11】 設備の製品カタログ/設備の仕様書
4		○	<b>エネルギー使用量の計算過程</b> ※4 例) 計算過程説明書（計算式含む）	【添付12】 省エネルギー量独自計算書
5		○	<b>エネルギー使用量の計算根拠</b> ※5 例) 製品カタログ 必要な能力値等を示せる資料（仕様書等） 既存設備の運転日報 エネルギー使用量計測値、請求書	

※1 該当する箇所に蛍光マーカー等で印をつけ、転記した箇所がわかるようにしてください。

※2 カタログ・仕様書に、設備の仕様情報が不足している場合は、メーカー等に相談のうえ、必要情報の記載がある証憑書類を用意してください。

※3 モータ効率レベルが判らない場合、トッランナー製品であることがわかるカタログ・仕様書を用意してください。

※4 第三者にもわかるように独自計算の考え方と計算過程を説明し、計算に用いる数値の根拠について記載してください。

※5 計算に用いた性能値、実測値、稼働条件（時間、負荷率等）等の根拠書類を必ず添付してください。  
型番マスタを使用して設備を登録した場合でも、添付が必要です。

**カタログ・仕様書の提出については、交付申請の手引きP.49を参照してください。**

ここまでの確認が終わりましたら、別途公開の「**交付申請の手引き**」に戻り、「**5-5 見積・発注情報の登録**」へ進んでください。

## <参考> 産業用モータ用計算式

### ■ 産業用モータの指定計算の計算手順と計算式について

産業用モータの指定計算については、下記の考えに基づき、補助事業ポータルで計算を行っています。

凡 例

製品カタログ等から転記する値

実績又は計画に基づき入力する値

使用データや計算ロジックによって自動入力される値

#### 1. 既存設備のエネルギー使用量算出の計算

以下の情報を用いて、既存設備のエネルギー使用量を求める。

$$\begin{array}{ccccccccc} \text{既存設備} & & & & & & & & & & \\ \text{定格出力} & \div & \text{既存設備} & \times & \text{運転負荷率} & \times & \text{稼働時間} & \times & \text{既存設備} & = & \text{既存設備} \\ \text{[kW]} & & \text{モータ効率} & & \text{[%]} & & \text{[h/月]} & & \text{台数} & & \text{消費電力量} \\ & & \text{[%]} & & & & & & \text{[台]} & & \text{[kWh/月]} \end{array}$$

$$\begin{array}{ccccccccc} \text{既存設備} & \times & \text{単位変更} & \times & \text{熱量変換係数} & \times & \text{原油換算係数} & = & \text{既存設備} \\ \text{消費電力量} & & \text{1/1,000} & & \text{9.97} & & \text{0.0258} & & \text{原油換算使用量} \\ \text{[kWh/月]} & & \text{[kWh}\Rightarrow\text{MWh]} & & \text{[GJ/MWh]} & & \text{[kl/GJ]} & & \text{[kl/月]} \end{array}$$

月間の原油換算使用量から年間の原油換算使用量を計算する。

$$\begin{array}{ccccccc} \text{4月} & + & \text{5月} & + & \dots & + & \text{翌年3月} & = & \text{既存設備} \\ \text{原油換算使用量} & & \text{原油換算使用量} & & & & \text{原油換算使用量} & & \text{原油換算使用量} \\ \text{[kl/月]} & & \text{[kl/月]} & & & & \text{[kl/月]} & & \text{[kl/年]} \end{array}$$

#### 2. 導入予定設備のエネルギー使用量算出の計算

以下の情報を用いて、導入予定設備のエネルギー使用量を求める。

$$\begin{array}{ccccccccc} \text{導入予定設備} & \div & \text{導入予定設備} & \times & \text{運転負荷率} & \times & \text{稼働時間} & \times & \text{導入予定設備} & = & \text{導入予定設備} \\ \text{定格出力} & & \text{モータ効率} & & \text{[%]} & & \text{[h/月]} & & \text{台数} & & \text{消費電力量} \\ \text{[kW]} & & \text{[%]} & & & & & & \text{[台]} & & \text{[kWh/月]} \end{array}$$

※導入予定設備の運転負荷率と稼働時間は、既存設備と同じとする。

$$\begin{array}{ccccccccc} \text{導入予定設備} & \times & \text{単位変更} & \times & \text{熱量変換係数} & \times & \text{原油換算係数} & = & \text{導入予定設備} \\ \text{消費電力量} & & \text{1/1,000} & & \text{9.97} & & \text{0.0258} & & \text{原油換算使用量} \\ \text{[kWh/月]} & & \text{[kWh}\Rightarrow\text{MWh]} & & \text{[GJ/MWh]} & & \text{[kl/GJ]} & & \text{[kl/月]} \end{array}$$

月間の原油換算使用量から年間の原油換算使用量を計算する。

$$\begin{array}{ccccccc} \text{4月} & + & \text{5月} & + & \dots & + & \text{翌年3月} & = & \text{導入予定設備} \\ \text{原油換算使用量} & & \text{原油換算使用量} & & & & \text{原油換算使用量} & & \text{原油換算使用量} \\ \text{[kl/月]} & & \text{[kl/月]} & & & & \text{[kl/月]} & & \text{[kl/年]} \end{array}$$

#### 3. 省エネルギー量算出の計算

1.と2.の計算を既存・導入予定設備で実施し、各々の原油換算使用量を求める。  
既存・導入予定設備の差分を省エネルギー量とする。

$$\begin{array}{ccc} \text{既存設備} & - & \text{導入予定設備} \\ \text{原油換算使用量} & & \text{原油換算使用量} \\ \text{[kl/年]} & & \text{[kl/年]} & = & \text{省エネルギー量} \\ & & & & \text{[kl/年]} \end{array}$$

## <参考> 既存設備のモータ効率参考値

### ■ 既存設備のモータ効率参考値

既存設備のモータ効率が不明な場合、下表の公称効率から既存設備に該当するモータ効率（％）を用いて省エネルギー量計算を行うことも可能です。

### <標準効率（IE1）の公称効率>

周波数	定格出力	2極	4極	6極
60Hz	0.75kW	77.0%	78.0%	73.0%
	1.1kW	78.5%	79.0%	75.0%
	1.5kW	81.0%	81.5%	77.0%
	2.2kW	81.5%	83.0%	78.5%
	3.7kW	84.5%	85.0%	83.5%
	5.5kW	86.0%	87.0%	85.0%
	7.5kW	87.5%	87.5%	86.0%
	11kW	87.5%	88.5%	89.0%
	15kW	88.5%	89.5%	89.5%
	18.5kW	89.5%	90.5%	90.2%
	22kW	89.5%	91.0%	91.0%
	30kW	90.2%	91.7%	91.7%
	37kW	91.5%	92.4%	91.7%
	45kW	91.7%	93.0%	91.7%
	55kW	92.4%	93.0%	92.1%
	75kW	93.0%	93.2%	93.0%
	90kW	93.0%	93.2%	93.0%
110kW	93.0%	93.5%	94.1%	
150kW	94.1%	94.5%	94.1%	
185～375kW	94.1%	94.5%	94.1%	
50Hz	0.75kW	72.1%	72.1%	70.0%
	1.1kW	75.0%	75.0%	72.9%
	1.5kW	77.2%	77.2%	75.2%
	2.2kW	79.7%	79.7%	77.7%
	3kW	81.5%	81.5%	79.7%
	3.7kW	82.7%	82.7%	80.9%
	4kW	83.1%	83.1%	81.4%
	5.5kW	84.7%	84.7%	83.1%
	7.5kW	86.0%	86.0%	84.7%
	11kW	87.6%	87.6%	86.4%
	15kW	88.7%	88.7%	87.7%
	18.5kW	89.3%	89.3%	88.6%
	22kW	89.9%	89.9%	89.2%
	30kW	90.7%	90.7%	90.2%
	37kW	91.2%	91.2%	90.8%
	45kW	91.7%	91.7%	91.4%
	55kW	92.1%	92.1%	91.9%
	75kW	92.7%	92.7%	92.6%
	90kW	93.0%	93.0%	92.9%
	110kW	93.3%	93.3%	93.3%
132kW	93.5%	93.5%	93.5%	
160kW	93.8%	93.8%	93.8%	
200～375kW	94.0%	94.0%	94.0%	

## <参考> 既存設備のモータ効率参考値

### ■ 既存設備のモータ効率参考値

既存設備のモータ効率が不明な場合、下表の公称効率から既存設備に該当するモータ効率（％）を用いて省エネルギー量計算を行うことも可能です。

#### <高効率（IE2）の公称効率>

周波数	定格出力	2極	4極	6極
60Hz	0.75kW	75.5%	82.5%	80.0%
	1.1kW	82.5%	84.0%	85.5%
	1.5kW	84.0%	84.0%	86.5%
	2.2kW	85.5%	87.5%	87.5%
	3.7kW	87.5%	87.5%	87.5%
	5.5kW	88.5%	89.5%	89.5%
	7.5kW	89.5%	89.5%	89.5%
	11kW	90.2%	91.0%	90.2%
	15kW	90.2%	91.0%	90.2%
	18.5kW	91.0%	92.4%	91.7%
	22kW	91.0%	92.4%	91.7%
	30kW	91.7%	93.0%	93.0%
	37kW	92.4%	93.0%	93.0%
	45kW	93.0%	93.6%	93.6%
	55kW	93.0%	94.1%	93.6%
	75kW	93.6%	94.5%	94.1%
	90kW	94.5%	94.5%	94.1%
	110kW	94.5%	95.0%	95.0%
150kW	95.0%	95.0%	95.0%	
185~375kW	95.4%	95.4%	95.0%	
50Hz	0.75kW	77.4%	79.6%	75.9%
	1.1kW	79.6%	81.4%	78.1%
	1.5kW	81.3%	82.8%	79.8%
	2.2kW	83.2%	84.3%	81.8%
	3kW	84.6%	85.5%	83.3%
	3.7kW	85.5%	86.3%	84.3%
	4kW	85.8%	86.6%	84.6%
	5.5kW	87.0%	87.7%	86.0%
	7.5kW	88.1%	88.7%	87.2%
	11kW	89.4%	89.8%	88.7%
	15kW	90.3%	90.6%	89.7%
	18.5kW	90.9%	91.2%	90.4%
	22kW	91.3%	91.6%	90.9%
	30kW	92.0%	92.3%	91.7%
	37kW	92.5%	92.7%	92.2%
	45kW	92.9%	93.1%	92.7%
	55kW	93.2%	93.5%	93.1%
	75kW	93.8%	94.0%	93.7%
	90kW	94.1%	94.2%	94.0%
	110kW	94.3%	94.5%	94.3%
132kW	94.6%	94.7%	94.6%	
160kW	94.8%	94.9%	94.8%	
200~375kW	95.0%	95.1%	95.0%	

## <参考> 導入予定設備のモータ効率参考値

### ■ 導入予定設備のモータ効率参考値

導入予定設備のモータ効率が不明な場合、下表の公称効率から既存設備に該当するモータ効率（％）を用いて省エネルギー量計算を行うことも可能です。

#### <プレミアム効率（IE3）の公称効率>

周波数	定格出力	2極	4極	6極
60Hz	0.75kW	77.0%	85.5%	82.5%
	1.1kW	84.0%	86.5%	87.5%
	1.5kW	85.5%	86.5%	88.5%
	2.2kW	86.5%	89.5%	89.5%
	3.7kW	88.5%	89.5%	89.5%
	5.5kW	89.5%	91.7%	91.0%
	7.5kW	90.2%	91.7%	91.0%
	11kW	91.0%	92.4%	91.7%
	15kW	91.0%	93.0%	91.7%
	18.5kW	91.7%	93.6%	93.0%
	22kW	91.7%	93.6%	93.0%
	30kW	92.4%	94.1%	94.1%
	37kW	93.0%	94.5%	94.1%
	45kW	93.6%	95.0%	94.5%
	55kW	93.6%	95.4%	94.5%
	75kW	94.1%	95.4%	95.0%
	50Hz	0.75kW	80.7%	82.5%
1.1kW		82.7%	84.1%	81.0%
1.5kW		84.2%	85.3%	82.5%
2.2kW		85.9%	86.7%	84.3%
3kW		87.1%	87.7%	85.6%
3.7kW		87.8%	88.4%	86.5%
4kW		88.1%	88.6%	86.8%
5.5kW		89.2%	89.6%	88.0%
7.5kW		90.1%	90.4%	89.1%
11kW		91.2%	91.4%	90.3%
15kW		91.9%	92.1%	91.2%
18.5kW		92.4%	92.6%	91.7%
22kW		92.7%	93.0%	92.2%
30kW		93.3%	93.6%	92.9%
37kW		93.7%	93.9%	93.3%
45kW		94.0%	94.2%	93.7%
55kW		94.3%	94.6%	94.1%
75kW	94.7%	95.0%	94.6%	
90kW	95.0%	95.2%	94.9%	
110kW	95.2%	95.4%	95.1%	
132kW	95.4%	95.6%	95.4%	
160kW	95.6%	95.8%	95.6%	
200~375kW	95.8%	96.0%	95.8%	

## <参考> 導入予定設備のモータ効率参考値

### ■ 導入予定設備のモータ効率参考値

導入予定設備のモータ効率が不明な場合、下表の公称効率から既存設備に該当するモータ効率（％）を用いて省エネルギー量計算を行うことも可能です。

### <スーパープレミアム効率（IE4）の公称効率>

周波数	定格出力	2極	4極	6極	8極
60Hz	0.75kW	82.5%	85.5%	84.0%	78.5%
	1.1kW	85.5%	87.5%	88.5%	81.5%
	1.5kW	86.5%	88.5%	89.5%	85.5%
	2.2kW	88.5%	91.0%	90.2%	87.5%
	3.7kW	89.5%	91.0%	90.2%	88.5%
	5.5kW	90.2%	92.4%	91.7%	88.5%
	7.5kW	91.7%	92.4%	92.4%	91.0%
	11kW	92.4%	93.6%	93.0%	91.0%
	15kW	92.4%	94.1%	93.0%	91.7%
	18.5kW	93.0%	94.5%	94.1%	91.7%
	22kW	93.0%	94.5%	94.1%	93.0%
	30kW	93.6%	95.0%	95.0%	93.0%
	37kW	94.1%	95.4%	95.0%	93.6%
	45kW	94.5%	95.4%	95.4%	93.6%
	55kW	94.5%	95.8%	95.4%	94.5%
	75kW	95.0%	96.2%	95.8%	94.5%
	90kW	95.4%	96.2%	95.8%	95.0%
	110kW	95.4%	96.2%	96.2%	95.0%
	150kW	95.8%	96.5%	96.2%	95.4%
	185kW	96.2%	96.5%	96.2%	95.4%
220kW	96.2%	96.8%	96.5%	95.4%	
250~1000kW	96.2%	96.8%	96.5%	95.8%	
50Hz	0.75kW	83.5%	85.7%	82.7%	78.4%
	1.1kW	85.2%	87.2%	84.5%	80.8%
	1.5kW	86.5%	88.2%	85.9%	82.6%
	2.2kW	88.0%	89.5%	87.4%	84.5%
	3kW	89.1%	90.4%	88.6%	85.9%
	3.7kW	89.7%	90.9%	89.3%	86.8%
	4kW	90.0%	91.1%	89.5%	87.1%
	5.5kW	90.9%	91.9%	90.5%	88.3%
	7.5kW	91.7%	92.6%	91.3%	89.3%
	11kW	92.6%	93.3%	92.3%	90.4%
	15kW	93.3%	93.9%	92.9%	91.2%
	18.5kW	93.7%	94.2%	93.4%	91.7%
	22kW	94.0%	94.5%	93.7%	92.1%
	30kW	94.5%	94.9%	94.2%	92.7%
	37kW	94.8%	95.2%	94.5%	93.1%
	45kW	95.0%	95.4%	94.8%	93.4%
	55kW	95.3%	95.7%	95.1%	93.7%
	75kW	95.6%	96.0%	95.4%	94.2%
	90kW	95.8%	96.1%	95.6%	94.4%
	110kW	96.0%	96.3%	95.8%	94.7%
	132kW	96.2%	96.4%	96.0%	94.9%
	160kW	96.3%	96.6%	96.2%	95.1%
	200kW	96.5%	96.7%	96.3%	95.4%
250kW	96.5%	96.7%	96.5%	95.4%	
315~1000kW	96.5%	96.7%	96.6%	95.4%	

## お問い合わせ・相談・連絡窓口

一般社団法人環境共創イニシアチブ  
省エネルギー投資促進に向けた支援補助金  
(エネルギー使用合理化等事業者支援事業)  
Ⅱ 設備単位

### 補助金申請に関するお問い合わせ窓口

TEL: 0570-055-122 (ナビダイヤル)  
※ IP電話からのお問い合わせ TEL: 042-303-4185

受付時間: 平日の10:00~12:00、13:00~17:00  
(土曜、日曜、祝日を除く)  
通話料がかかりますのでご注意ください。

SIIホームページ <https://sii.or.jp/>